

無料 (ご自由にお持ち帰り下さい)

編集・発行／茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>

2019年
Vol.35

ほっとタイムズ

病院長メッセージ「医師の働き方改革へのご協力をお願い」

教えてドクターQ&A 白血病について



バージョンアップした1.5T MRI装置と診療放射線技師

特集『医療をささえるスタッフ 放射線技術科』…2～3

ドクター紹介 …… 5

消化器外科 部長 川崎 普司

消化器外科 医長 奥野 貴之

病棟で活躍する認定看護師 …… 5

慢性心不全看護認定看護師・循環器病予防指導療法士 濱田 智子

トピックス …… 6

アフリカの片隅で「緑の下での力持ち」／

PCU七夕会／防災訓練

トピックス …… 7

高校生夏休み看護体験プログラム／中学生職場体験学習

連携医療機関のご紹介 …… 8～9

河内クリニック／みなみ赤塚クリニック

小鹿歯科医院／みずき歯科医院

地域連携だより 各診療科のご紹介 …… 10

循環器内科

院内のオアシスへ「いらっしゃいませ」／… 12

院内コンサート／職員募集



診療放射線技師は法令上、人体に放射線を照射することができる国家資格です。具体的には、放射線を発生する医療機器等を操作して、診療画像の作成や放射線治療を行っています。今回は、当院で活躍する診療放射線技師である高坂倫江さんに、診療放射線技師業務の紹介とその魅力、また今回バージョンアップしたMRI（核磁気共鳴）装置についてお話をうかがいました。



診療放射線技師
主任 高坂 倫江
たかさかのりえ

Q：先日放映されたドラマ、「ラジエーションハウス」では診療放射線技師が主役として話題となりました。その診療放射線技師の仕事について教えてください。

高坂診療放射線技師（以下、高坂）：診療放射線技師は国家資格職で、医療で放射線を取り扱う仕事です。その範囲は、むねやおなか、関節などのX線撮影、消化管等のX線透視撮影、X線CT撮影や血管撮影などの放射線診断に必要な写真を作成します。目的に応じた撮影を行い、三次元画像の作成や読影の補助、手術サポートも担っています。また、放射線を使用した治療にも携わっています。もちろん、これらの機器の管理等も行い、安全な放射線診療の一端を提供しています。ドラマでも取り上げられ、周囲の方から診療放射線技師の仕事に関して聞かれる機会も多くなり、注目されることを嬉しく思います。

Q：中央病院ではどのような検査を受けることができますか。

高坂：X線一般撮影や消化管等の透視撮影、乳腺撮影、X線CT撮影、骨密度測定、心臓や全身の血管撮影のほか、放射性医薬品を用いた核医学検査（PET・CT含む）が可能です。また、ドックも行っております。

Q：現代医療において、いまや検査や治療には欠かせない放射線ですが、それに伴い診療放射線技師の需要も高くなっていますね。専門性の高い「専門・認定技師」の制度もあると聞きました。中央病院にもいらっしゃいますか。

高坂：当院には30名の診療放射線技師と2名の医学物理士が在籍しています。診療放射線技師に関連する専門資格等は数多くあり、中央病院には、専門資格を取得するための試験等に合格して、現在、下記の認定資格等を取得しています。県民の皆様放射線を使用した高度技術が提供できるように、認定等取得に積極的に取り組んでいます。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| ・第一種放射線取扱主任者 4名（国家資格） | ・第二種放射線取扱主任者 1名（国家資格） |
| ・医学物理士、放射線治療専門放射線技師 4名 | ・放射線治療専門放射線技師 1名 |
| ・放射線治療品質管理士 4名 | ・検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 5名 |
| ・救急撮影認定技師 2名 | |
| ・血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 2名 | ・X線CT認定技師 2名 |

Q：診療放射線技師のやりがいを教えてください。

高坂：自分が撮影した画像が、手術で用いられ、技術を駆使して撮影した写真に、医師から「診断に助かった」と言われると、大変励みになります。また検査後に、患者さんから、「最初不安だったけど、おかげで検査できたよ」と感謝されたときは技師冥利に尽きます。これからも、患者さんに寄り添って、「チーム医療」の一員として貢献できるよう、日々研鑽したいと思っています。



MRI撮影風景



GE社製 乳房撮影装置
撮影は女性技師が行っております

1.5T(テスラ)MRI装置が新しく生まれ変わりました

Q: 1.5T(テスラ)MRI装置が新しく生まれ変わったそうですね!まずはMRIとはどのような装置なのですか。

高坂: MRIとは Magnetic Resonance Imaging (磁気共鳴画像) の略称で、磁石の埋め込まれたトンネル型の機械に入って検査をします。X線撮影やX線CT撮影と異なり、磁気を使って体の中を撮影するというのが大きな特徴です。MRIではどの部位も撮像可能ですが、特に脳や脳血管、婦人科領域、前立腺、脊椎、四肢などの病巣に関して優れています。

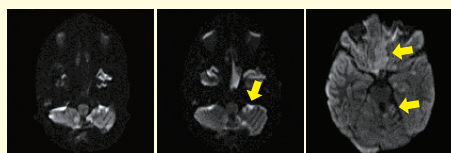
Q: それでは、実際どのように新しく生まれ変わったのか教えていただけますか。

高坂: 当院では1.5Tと3Tの2台のMRI装置が設置されており、今回1.5T MRI装置を2019年3月にバージョンアップしました。どのようにバージョンアップしたかということ、新規設置とは異なり、従来使用していた磁石をそのまま残し、他のシステムを最新技術に変えました。そのため新設であれば2カ月以上かかる工事期間を、2週間という短い日程で終了することができ、検査待ち日数の短縮につながりました。また、最近発売されている磁石は、広範囲の撮像が難しく、従来使用してきた磁石の優れた特徴をそのまま活かしたいと考えました。その結果、より高分解能画像を提供できるようになりました。

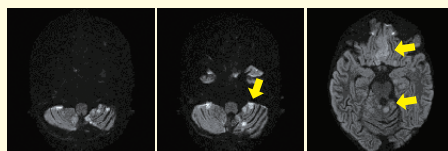
Q: 患者さんをお待たせすることなく、従来の良い部分を活かしてバージョンアップ!いいとこどりですね。

高坂: そうなんです!では実際に、バージョンアップした1.5T MRI装置の高画質画像をぜひご覧ください。

まず頭部MRI画像です。撮像シーケンスである拡散強調画像において、従来のものより、さらに高画質になっており、病巣が見えやすくなりました。頭部MRIは画質だけでなく、検査時間も短縮され、頭部MRI検査の場合、従来の時間と比較して約三分の二で可能です。脳梗塞急性期の診断・治療は一刻を争う時間との勝負であり、救急医療に役立つと考えます。



従来の頭部MRI画像



バージョンアップ後の頭部MRI画像

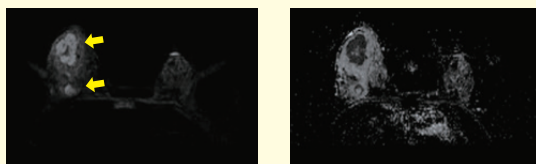
従来の画像と比較して、病巣部位がより鮮明に描出されています。

次に乳房MRI画像です。乳房MRIは良悪性の鑑別診断と乳がんの広がり診断を目的に行います。最近では初期治療後の経過観察目的の検査や、マンモグラフィや超音波で検出できない多発乳がんの検出、術前化学療法の効果判定を目的とした乳房MRIが施行されています。今回バージョンアップしたことで、画像の歪みが補正され、病巣がきれいに撮像できるようになりました。

このほかにも、閉塞性動脈硬化症などの評価に用いる下肢MRAは、造影剤を用いず評価することが可能になりました。従来、下肢動脈の診断には超音波や造影CTで評価していました。造影剤にアレルギーをお持ちの方や、腎機能が悪い方には造影剤は使用できないため、非造影で検査できなかったのは大きなメリットです。

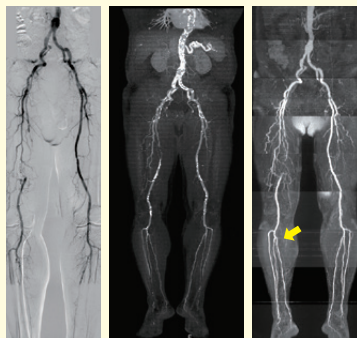
Q: それでは最後に読者の方へメッセージをお願いします。

高坂: 検査を受ける際になるべく患者さんの不安を軽減できるよう、放射線技術科一同努力していきたいと思っています。皆様よろしくお願ひします。また、当院では女性の診療放射線技師が乳腺撮影に従事しています。乳がんは、女性がかかるがんの第一位で、増加の一途をたどっています。日本のマンモグラフィ検診受診率は、他の先進国と比較して受診率が低調です。早期発見には検診が大切です。わたしたちは患者さんが受診しやすい環境を物心両面から整えております。ご不明な点があれば遠慮なくスタッフに声をかけてください。



バージョンアップ後の乳房MRI画像

歪みが出やすい乳房MRIですが、歪みが抑制され画像が見やすくなっています。



①DSA

②CTA

③MRA

- ①DSA…造影剤を注入し透視下で血管撮影を行った画像
- ②CTA…造影剤を注入しCTで撮影。画像処理を行った画像
- ③MRA…造影剤を用いずMRIで撮影。画像処理を行った画像

MRIで撮像した画像は下肢の末梢まで描出されています。

(画像提供: シーメンスヘルスケア株式会社)

白血病について

Q：白血病とはどんな病気ですか？

A：白血病は血液のがんに分類されます。硬い骨の中心部は柔らかく骨髓と言われ、そこで血球と呼ばれる赤血球、白血球、血小板がつくられます。白血病では血球の元になる細胞ががん化し、全身の骨髓を占拠してしまいます。白血病の細胞が骨髓から血中に流れ出たり、脾臓やリンパ節に入り込んだりして病気を発症します。

Q：白血病にはどのような種類がありますか？

A：急性と慢性、骨髓性とリンパ性に分けられます。急性骨髓性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髓性白血病、慢性リンパ性白血病の4つですが、いずれも病状や治療法が異なります。

Q：白血病の症状を教えてください。

A：急性白血病の場合、正常の血球が急激に減って様々な症状が引き起こされます。発熱、貧血による息切れやだるさ、あざや歯肉出血など血が止まらず出血しやすいなどです。慢性白血病の多くは月から年の単位でゆっくりと進行します。初期は無症状のことが多く、健診で白血球が増えていることで見つかる方もいます。



Q：白血病の治療法にはどのようなものがありますか？

A：抗がん剤治療（化学療法）が基本になります。急性白血病では無菌室で点滴や輸血をする辛い治療のイメージかもしれませんが、吐き気の予防一つとっても格段に進歩しています。通常の抗がん剤治療の後に、同種造血幹細胞移植（骨髓移植や臍帯血移植など）をする場合もあります。慢性骨髓性白血病では、チロシンキナーゼ阻害薬という抗がん剤を飲み続ければ、多くの方で一生にわたり病気を抑えることができるようになりました。慢性リンパ性白血病の治療も進歩していますが、落ち着いているうちはあえて治療はせず様子を見る場合もあります。

Q：白血病にならないための予防法はありますか？

A：残念ながらありません。タバコやお酒など特定の生活習慣との関連も言われていません。



大越先生から
ひとこと

血液内科
輸血細胞治療部長
おおこし やすし
大越 靖 先生

急性白血病は全世代、若い方やお子さんにも襲いかかります。私は抗がん剤治療や骨髓移植で多くの患者さんを治したいと血液内科の道に入りましたが、最近では高齢の方も増え、また治療法も進歩し、だいぶ様変わりしました。患者さんの状況によっては抗がん剤ではなく緩和治療をお勧めする場合があります。患者さん一人ひとりに合わせた治療法の選択が大切だと感じています。

ドクター紹介



消化器外科
部長
かわ さき ひろ し
川崎 普司

2002年6月からの4年弱をこちらで研修し、今回2011年4月に戻ってきてからは、一般・消化器外科を中心に、地域の急性期の医療に広く携わっています。食道や胃にできたがんの治療から、外傷や腹膜炎など一刻を争う治療までさまざまです。

残念ながら、自分一人ではなにもできません。多くのスタッフが助けあうことで、はじめてみなさまにお役に立てる医療を提供できます。生まれは甲子園球場のある兵庫県西宮市ですが、茨城県での生活がその次に長くなりました。少しずつでも貢献できるよう日々精進してまいります。



消化器外科
医長
おく の たか ゆき
奥野 貴之

市中病院、大学病院で消化器外科医として10年間勤務し、本年の4月より当院に赴任して参りました。趣味はランニングで、週末に時間のある時は北山公園に走りに行っています。

近年では腹腔鏡手術の進歩により、癌の患者さんでも、1cmの創で手術後数日で退院することができるようになりました。一方で、積極的な手術を行うことが、患者さんのその後に大切であることもあります。診療では患者さんにそれぞれ適切な治療を行えるよう心がけています。今後とも茨城県の医療に貢献するべく精進していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

病棟で活躍する認定看護師

慢性心不全看護認定看護師・
循環器病予防指導療法士

はま だ とも こ
濱田 智子



心不全は何らかの原因によって、心臓の働きが低下した状態を言います。心臓は、全身に血液と酸素を送るポンプの働きをしています。そのため、働きが低下すると、肺に水がたまって息苦しさが出たり、足がむくんだりすることがあります。

普通に動いただけで息切れがするなどの症状で当院を受診され、弁膜症を発見される方もいます。皆様方に身近な、高血圧も長年放置すると心不全の原因になります。高血圧・動脈硬化・心筋梗塞・心不全などを予防することで、少しでも健康で自分らしく暮らしていただく事ができるように相談・支援させていただきます。患者さんが大切にしていることに寄り添った看護が提供できるよう目指しています。





アフリカの片隅で「縁の下の力持ち」

防災担当看護師長 **青木 まさし 正志**

本年3月、アフリカのモザンビーク共和国で洪水災害が発生し医療支援のための国際緊急援助隊医療チームの一員として派遣されました。このチームは、海外で大規模な災害が発生した場合に政府が派遣する医療チームです。小職は看護師として当院に勤務していますが、今回の派遣では、野外診療所の設営や機器の保守、野営や生活の管理など医療活動が円滑に遂行できる様にサポートするロジスティクスという役割を担っています。

この役割は医療と違い脚光を浴びません。しかし、雑用係でもありません。求められることは医療部門が目標や役割を達成するための必要な環境を調整することです。災害を演劇で例えれば医療者は役者であり、ロジスティクスは舞台の管理や維持とも言えます。

今まで国内外で多くの支援活動の経験を通し得られた教訓は、「災害で唯一確実なのは計画通りにならない」事です。このような不確実で状況が刻々と変化し問題が生じる中で医療を提供する事は容易な事ではありません。制限された状況や環境で医療が最大限に能力を発揮し有効な活動を行うためロジスティクスは求められるのです。



PCU セタ会



6月25日、PCUセタ会を行いました。心癒やされるオカリナの演奏や昔なつかしい紙芝居、ご参加いただいた皆さんとの合唱など、楽しく過ごしました。綿あめ、かき氷などのおもてなしもあり、少し早い夏気分を味わっていただきました。入院中でも季節を感じていただけるようこれからも季節の行事を大切にしていきたいと思います。

防災訓練



7月3日に茨城県内を震源とした震度5強の地震が発生したことを想定し、防災訓練を実施しました。入院患者さんの安全確認から安全対策、被害状況の確認、それから、病棟から入院患者さんを避難させるまでの流れを実際に行いました。災害時には万全の対応ができるよう訓練を行い、それぞれが認識を持って行動できるよう努めてまいります。

高校生夏休み 看護体験プログラム

in 茨城県立中央病院



7月31日と8月14日の2日間にわたり、高校生夏休み看護体験プログラムが行われました。救急センターの見学や病棟での看護体験（患者さんとの交流など）、手術室では手術室看護師の仕事体験や、また産科では助産師が語る「命の誕生」について学んだり、密度の濃い様々な体験をしていただきました。



参加した
高校生からの
ひとこと



- どの体験でも担当の方々が親切で安心した。看護師になりたいくて体験に参加したが、この病院で働きたいという2つ目の目標もできた。
- 実際に病室に入って患者さん達と交流したことや新生児室の赤ちゃんを見学したりなど、体験できることが多く、色々な事を学ぶことができた。
- 病棟を初めて見学、体験させてもらい、今まで気づけなかったことに気づけて良かった。
- 質問にも丁寧に答えてくださり、患者さんにも元氣よく接している看護師の方々が素晴らしいと感じた。とても良い時間を過ごすことができた。
- 皆さんの仕事を見ていて、仲間とのチームワークがとても良いと感じた。
- 看護師の仕事にはたくさんの種類があり、それぞれ別々のやりがいがあるのだと思った。
- より上のステップの資格を持つ方々が多く、看護師の方々の意識の高さを感じた。

中学生職場体験学習

8月5日、医療用スクラブ(ユニフォーム)に着替えた中学生たちは希望する職種（医師・看護師・リハビリテーション技術科・臨床検査技術科・薬剤科）にそれぞれ分かれ、職場体験を行いました。緊張の面持ちの中学生たちでしたが、担当の職員から実際の医療現場の話を聞いたり、職場の見学・体験を通し、医療現場で働くことについて知識や理解を深めていっているようでした。医療について、また自分の将来について考える良い機会となってくれることを願っています。



かかりつけ医を
持ちましょう

連携医療機関のご紹介

河内クリニック

院長 河内 重人

平成10年に開業した内科系クリニックです。県立中央病院様には吉見先生、清嶋先生、鏑木先生はじめ多くの先生にお世話になっております。特に高校の先輩である吉見先生には患者様だけでなく院長の虫垂炎の手術もしていただきました。ありがとうございました。当院では主に院内処方を行っており、診察後さらに薬局に行くという二度手間を減らすとともに、患者さんの経済的負担も減らすように務めております。睡眠時無呼吸症候群の検査・CPAP療法、スギ花粉症の舌下免疫療法、禁煙指導、各種予防接種なども行っております。地域に根ざした敷居の低い、相談しやすい、かかりつけ医を目指しております。院長手作りのため見にくいかと存じますがホームページも是非ご覧ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。



■所在地：水戸市金町3-1-17

■電話：029-222-3000

■診療受付時間：午前9:00～13:00 午後14:00～18:00

■休診日：水曜・日曜・祝日・土曜午後

■HP：http://www.doctork.gr.jp/

みなみ赤塚クリニック

院長 高橋 秀夫

平成11年に糖尿病専門クリニックとして開業して以来、お陰様で今年で20周年を迎えることが出来ました。糖尿病をはじめとした生活習慣病は、食生活や運動など患者さんにとって日常生活そのものが治療の場になります。生活習慣を見直し血糖値を改善・コントロールするためには患者さんを中心に、医師、看護師、栄養士、検査技師などが加わったチーム医療が必要不可欠です。

当院では糖尿病専門医のほかに日本糖尿病療養指導士の資格を持つスタッフが、受診の際、時間をかけて患者さんの声に耳を傾け、その患者さんにとって今何が必要なのか、患者さんの立場に立って診察しております。また糖尿病妊婦さんの管理、甲状腺疾患の治療にも力を入れております。お気軽にご来院ください。(予約をお取りの上、受診してください。)



■所在地：水戸市河和田4940

■電話：029-257-6060

■休診日：第5土曜・日曜・祝祭日

■診療受付時間：午前8:20～12:30 午後14:30～17:30

土曜日の診療受付時間：第1,3週8:20～12:30 第2,4週8:20～15:30(昼休みなし)

■診療科：内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科

ここでは患者さんやご家族の日常的な治療や健康管理を考えてくれる、地域の身近で気軽に相談できるかかりつけ医である医療機関をご紹介します。

小鹿歯科医院

院長 小鹿 典雄

当医院は昭和21年に開院し、4世代お元気で通院されているご家族もいらっしゃるような、患者さんとの長いお付き合いを大切にしている歯科医院です。

長い人生の中では、入院や手術、強い薬剤を用いた治療などが必要になることもあります。その時にお口の中が健康な状態であることは、それらの治療の過程や身体の健康の維持に極めて重要なことになります。しかし、突然そういう状態になった時の患者さんの精神的・肉体的な負担には大きなものがあり、長年のお付き合いで口の健康を獲得されてきた方さえ、その状態を維持することが難しくなることがあります。まして、いきなり「手術になるから口の中を健康にする必要がある」となっても、短期間での実現にはお互いに困難を伴います。

かかりつけ歯科医をお持ちになり、健康な口を維持する習慣、どういう時にも耐えうる健康な口そして歯科医院との人間関係を作っておくことは、ご自分の超高齢化に向かったの準備としても大切なことだと思っています。



■所在地：水戸市五軒町3-3-47

■電話：029-221-4611

■診療受付時間：午前9:00～12:00 午後13:30～17:30

■休診日：水曜・日曜・祝祭日

みずき歯科医院

院長 飯森 典子

歯（口腔）は身体の玄関です。虫歯、歯周病の他に多々の問題が沢山あります。

審美から矯正、インプラントの他「オーラルフレイル」「口腔機能低下症」にまで関心をもち「健口管理士」の免許も取りました。先ずは、健康である事は「口腔が整っている」事を信じ多職種連携が可能な近未来型歯科医療を担うことが可能な歯科医師を目指して日々治療に励んでおります。口腔外科、インプラント等は専門医でもあります。

どんな小さな問題でも伺いますのでいらして下さい。



■所在地：水戸市河和田町1152-3

■電話：029-252-4158

■診療受付時間：午前10:00～12:30 午後15:00～18:45
日曜日10:00～13:15（午後休診）

■休診日：水曜・土曜・祝日

地域連携 だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、患者さんにおかれましては常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後とも宜しくお願いいたします。

各診療科のご紹介



循環器内科

たけ やす のり ゆき
部長 武安 法之

当院の循環器診療は内科・外科が日々一体となって行っているのが特徴です。手術に関するカンファレンスはもちろんのこと、

と、CCU（循環器集中治療室）病棟の廻診も毎朝内科・外科全員一緒に開始します。

循環器疾患は、突然発症する命にかかわる疾患（急性心不全、急性心筋梗塞、急性肺血栓塞栓症、急性大動脈解離、心室細動・心室頻拍、急性感染性心内膜炎、急性心筋炎など）が多く、また夜間や明け方に状態が急に变化する患者さんも多くいらっしゃいます。まずはこのような状況に24時間365日対応できるよう、当院では病院内に循環器医師が必ず1名以上常駐する体制を維持し、いつでも・あらゆる循環器疾患に対応できる体制を具えて、患者さん第一の診療を心がけております。受け入れ要請をいただき、やむを得ずお断りしなければいけない事例は年間数件ほどで、全力で全例受け入れる努力を続けております。

医療スタッフは内科医8名、外科医3名に加え、CCUスタッフ、臨床工学技術科、臨床検査技術科、放射線技術科、5西病棟スタッフ、心臓リハビリテーションスタッフ、薬剤局、栄養管理科、手術室スタッフ、総務課、医事課、企画情報室、地域医療連携室、医療相談支援室と、あらゆる職種の方々とのチームで日々診療を行っております。

循環器専門診療をこの水戸・笠間地域、さらには茨城県下のいずれの地域の患者さんにも提供させていただけるよう、日本循環器学会循環器専門医研修施設、日本不整脈学会研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設としての認定も受けております。ただなにより、患者さんを専門的に治療することも大切ではありますが、それにもまして、あらゆる職種のスタッフとチームを組んで患者さんを包括的に治療・ケアしていくことこそが、我々が求めるべき医療であると考えております。引き続き今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

—第18回—

「医師の働き方改革への ご協力をお願い」

茨城県立中央病院
茨城県地域がんセンター

よし かわ ひろ ゆき
病院長 吉川 裕之



政府の重要政策のひとつである「働き方改革関連法」が施行されました。これは多様な働き方を選択できる社会の実現のための法律であり、「長時間労働の是正」、「雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保」「多様で柔軟な働き方の実現」の3つが柱になっています。

「長時間労働の是正」については医療の分野においても、医師を除く薬剤師、看護師などでは、本年4月より運用が始まっています。労働基準法で時間外労働の上限規制は原則として月45時間・年360時間、臨時的な特別の事情がある場合でも年720時間以内となり、単月100時間未満（休日労働含む）、複数月平均80時間以内（休日労働含む）を超えることはできません。また、原則である月45時間を超えることができるのは、年間6か月までとなります。また、年5回以上の有給休暇取得などのルールが定められ、これに違反した場合には罰則の対象となります。医師については、年休取得ルールだけは本年度から適用されますが、その他の項目は2024年度以降に延期されました。（※厚生労働省ホームページより）

厚生労働省の資料によると、労働時間が週60時間を超える職種別の割合は、医師が42%で最も高く、次いで自動車運転従事者が40%でした。医師においては週75時間を超えるところに第2のピークがある点も特徴です。医師の働き方改革については、2024年度以降のルールに対応できるように準備しています。診療医の場合、年の時間外労働上限は960時間になっていますが、なかなか実現には至っておりません。特殊な救急機関や在宅医療機関では、年1,860時間まで認められることになっており、（月の時間外

働155時間に相当）。また、専門医を取るまでの臨床研修医の上限も1,860時間とされています。

医師の長時間労働の理由としてよく「応召義務」が指摘されます。応召義務は医療の公共性、職業倫理などを背景とした訓示的規程です。医師が国に対して負担する公法上の義務となっておりますが、際限のない長時間労働を求められるのは正当でないとされています。ただ、今後も応召義務の解釈等への議論は必要となってくるでしょう。

医師の働き方改革における長時間労働の是正として、第一に、軽症の外来初診患者数の削減を図ることが挙げられます。500床以上の病院では、紹介状なしで初診した患者さんに5000円以上の選定療養費を請求することが義務づけられています。これは、高度医療の提供・急性期疾患への迅速な対応を担う急性期病院として紹介状持参の中等症以上の患者さんに限定する措置なのです。最近では軽症の救急患者さんにもこの選定療養費を請求する施設が多くなっています。そして第二に患者さんやご家族に対する説明をなるべく勤務時間内に行うようにすること、第三に主治医一人制ではなくチーム医療として対応することで主治医の負担軽減に努めるなど、長時間労働の回避に繋げるべく取り組みを行っています。このように現在進めている医師の働き方改革には患者さんのご理解とご協力をいただかなければ実現することはできません。

今後とも当院は地域医療を支えるべく努力してまいります。診療内容のいっそうの発展のために、医師の働き方改革の実現に向け、ご理解・ご協力をお願いいたします。

院内のオアシスへ
“いらっしやいませ”

ニュー ヤマザキ デイリー ストア

営業時間／平日8:00～18:00
土曜・日曜・祝祭日休み



4月にオープンしたばかりの当店は、パントップメーカーならではのパンやサンドイッチ、ドーナツなどをはじめとしたデザート類や和菓子など豊富な品揃えが自慢です。またお弁当やお飲み物に加え、日用品や入院グッズなど、入院に必要な物も揃います。毎週火曜日には各病棟にてワゴン販売もしており、大変好評をいただいております。これからも、皆様のオアシスになれるよう笑顔でお迎えいたします。



院内コンサート

二胡 コンサート



6月7日に伊藤茂夫さんによる中国の伝統楽器である二胡の演奏会が開かれました。儚げで哀愁漂う音色が特徴の二胡。癒やしの時間をお楽しみいただきました。

セタ コンサート



7月4日にクラリネット奏者の濱中明美さんとピアニストの笹島陽子さんによる演奏と女声コーラス華と院内コーラスによる合唱をお楽しみいただきました。

ドクターズ・クラーク(医師事務作業補助者)の募集

募集人員：5名程度

雇用期間：採用から2020年3月31日まで

契約更新有り（条件有り）

業務内容：医師が行う事務作業の補助をする業務です。

電子カルテへの診察記録の代行入力

診察に関するデータの抽出、作成

各種保険の診断書や証明書などの作成代行

カンファレンスの準備及び資料・議事録の作成など

必要経歴：医事業務の経験等があることが望ましいが、未経験者でも可。パソコンスキル（エクセル・ワード）

賃金：時給1,141円、他に賞与あり

（院内保育所：空きがある場合は利用可）

勤務時間：原則9:00～16:00（週29時間勤務）

多くの女性スタッフが活躍中！

仕事と家庭の両立もサポート。

ご連絡先：事務局総務課 黒澤
☎0296-77-1121（内線2024）

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>